



脈々といのち支える水の道  
山陽小野田市水道局

# すいげんかんようりん 水源涵養林



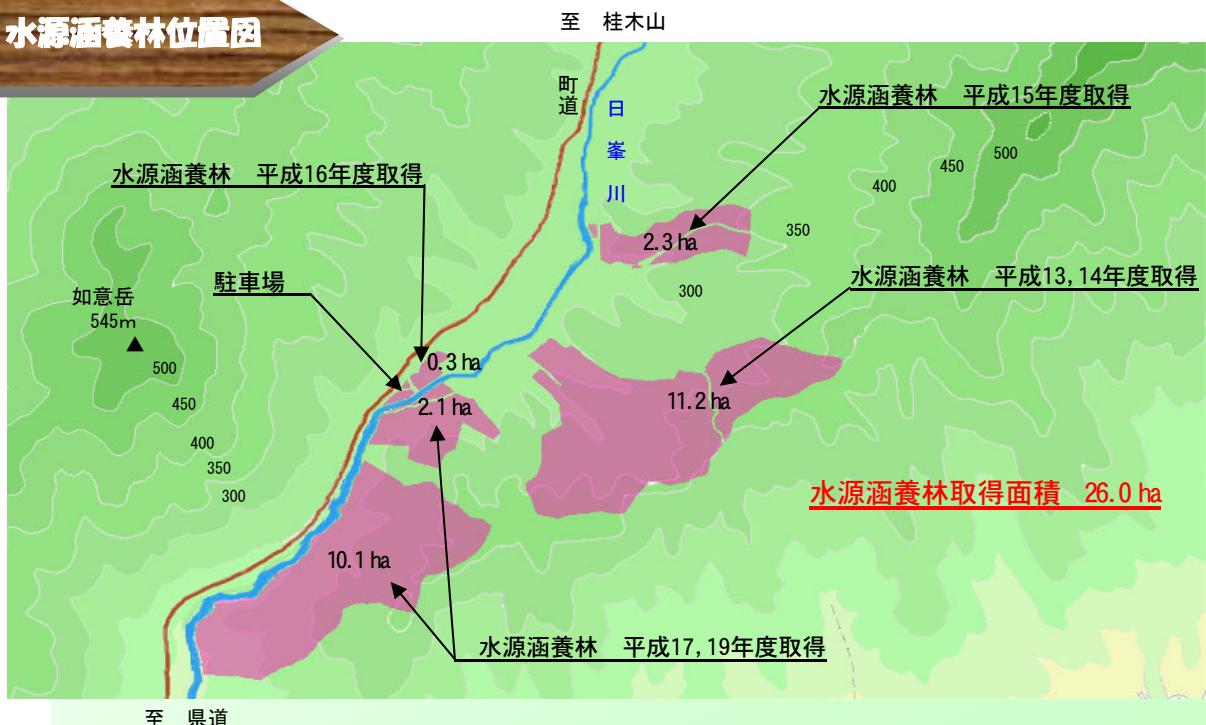
水源涵養林付近を流れる日峯川（ひのみがわ）

河川の下流域に取水設備や浄水場のある山陽小野田市にとって、上流域の水質悪化は大きく影響します。森林が静かに育んだ湧き水の流れは、やがて大きな川となり、古来より私たちの生活を支え続けてきました。また、地球環境という大きな観点からも森林は私たちに様々な恵みをもたらす自然の宝庫であることに間違いありません。このため、「水を育む」「水を保護する」という視点で、山陽小野田市では、水源地域の山林の保全育成を目指して、秋芳町嘉万（かま）に「水源涵養（かんよう）林」を取得し、環境保全に努めるとともに、「水と森」に関する啓発活動を進めています。

森林の土壌は、雨水を貯留し、河川へ流れ込む水の量を平準化して洪水を防止するなど、川の流量を安定させる機能を持っており、「緑のダム」とも呼ばれています。また、雨水が落葉などの堆積物や微生物が棲む森林の土壌を通過することにより、窒素やリンなどは土により吸着、ろ過され、またそれらは植物に吸収されていくなかで、水が浄化されていきます。このように水源涵養機能の高い森林を育てることは、「水を育む」「水を保護する」ということに通じます。

自然の恵みである水の大切さを再認識することにより、これからも豊かな水源の源流域の自然を破壊することがないように、次の世代に引き継いでいく努力が必要とされています。

## 水源涵養林位置図





# 水源涵養林 案内図



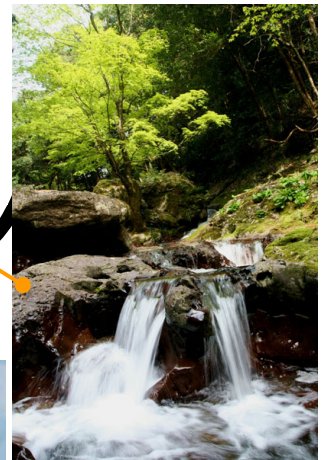
水源涵養林 遠景



駐車場入口看板



県道入口 案内看板



日峯川の溪流



地球上では水が様々な形となって循環し、そのなかで水が森林を育て、森林が水を生みだします。このことから、「水」と「森」は、影響しあい響きあっているといえます。

山陽小野田市水道局では、この森林と水の関係から、水道水のペットボトル製作にあたり「森響水（しんきょうすい）」と命名しました。



脈々といのち支える水の道 山陽小野田市水道局

〒756-0092 山口県山陽小野田市新生一丁目8番22号 TEL 0836(83)4111